



ENJOY LIFE

Vol.80

12月



こんにちは♪

今年ももう最後の月！12月です！！

12月と言えば何かとバタバタする日が多く、アツという間に過ぎていくと思いますが最近またコロナウィルスの感染者も増えてきておりますので、お身体ご自愛くださいね(>_<)

さてさて、ハロウィンも終わり次はクリスマス❄️

雑貨屋さんや百貨ではクリスマスの商品がたくさん出てきましたね～！！

見てるだけでも、ワクワクします♡

見ているだけで楽しい気分になる、クリスマス飾りですが、それぞれどんな意味や由来があるかご存知ですか？

今回は、代表的なクリスマス飾りの意味や由来をご紹介します。



クリスマスの飾りの意味・由来とは？

★トッパスター

クリスマスツリーの一番上に、必ずといっていいほど飾られている星型の飾りを「トッパスター」と言います。トッパスターは、イエスキリストの誕生を「東方の三博士」に知らせた「希望の星」が由来になっています。人々を導くような大きく目立つ星は縁起が良いとされ、クリスマスツリーの頂上を飾っているのです。

★クリスマスベル

クリスマスベルは、イエスキリストの誕生日を人々に知らせる「喜びの音を鳴らすベル」という意味があります。ベルの飾りには天使とセツトの飾りが多く、これは天使がベルを持ちキリストの誕生日を人々に知らせる役目がある事が由来となっています。また、ベル自体にも魔除けの効果があるといわれています。

★オーナメントボール

現在は金属性メッキ状のボールのものが定番ですが、昔はリンゴを飾っていました。リンゴは、アダムとイブが食べた「知恵の木の実」を象徴しているといわれ、「幸福」や「豊かな実り」の願いが込められてツリーに飾られるようになりました。

★靴下

クリスマスに飾られる靴下は、聖ニコラウスという人物が貧しい家の子供たちを助けるために窓から金貨を投げ入れたら、暖炉のそばにあった靴下の中に偶然入ったという、サンタクロースのモデルになったお話が由来となっています。ちなみに、クリスマスシーズンによく売られているお菓子が入ったクリスマスブーツは、日本だけではない見かけないものなのかも。

★キャンディ

クリスマスツリーに飾り付けられるキャンディが杖の形をしているものが多いのは、「羊飼いが羊を導く杖」を意味しているからです。そこからキリストが人々を導いてくれるという祈りが込められています。また、白と赤のストライプ模様のキャンディが多いのは、キリストの「白い心」と「血と愛」を表しているという説もあるそうです。



毎年何気なく触れていたクリスマスを彩る飾りには、それぞれこんなにも意味や由来があることに驚かれた方も多いのではないのでしょうか。

今年のクリスマスは、飾りの意味や由来を思い出しながらイルミネーションを楽しんでみたり、ツリーに思い思いの飾りを付けたりなど、大切な方と幸福を願いながら過ごしてみてもいいかなと思います。

では、また来月宜しくお願いします◎♪



株式会社キコークリエイト